

2021/02/08 (月)

朝の礼拝

聖書 ルカによる福音書 22章42節 (新約聖書155頁)

父よ、御心なら、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの願いではなく、御心のままに行ってください。

知は愛、愛は知

学びは試験のためと考えれば、学びとは学んだすべての知識を正確に、速く答えることです。ですから学ぶとは自分の気分や勘だけではできません。文法、スペル、公式、法則があります。客観的な事実を無視すると、自分の思い込みに気づかずミスを重ねます。

一方、恋愛には文法、スペル、公式、法則などありません。「朝まで話していたい」「一緒にいたい」「時間よ、止まれ」状態になります。地球は二人のために回っています。万有引力の法則も相対性理論もすべて二人のためにあるのです。

しかし恋に落ちる二人も、全く別の人格です。目玉焼きに醤油をかけるか、ソースをかけるか、そもそも目玉焼きはあまり食べない、卵料理はだし巻きに限るなどなど、生まれや育ちの違いから些細なことでケンカになり、挙げ句の果てには百年の恋も一瞬で冷めるのです。

ですから学ぶ、知る、知識を得ること、恋することは相反することのようで、実は共通している点があるのです。まずは納得できなくても、嫌いでも学ぶ対象や事実を、他者の存在そのものと向き合うことです。すると世界が広がります。自分が狭い世界にいたことを知ります。そして自分も赦され愛されていると気づくのです。

(しばらく黙祷しましょう)

祈祷 祈りましょう

英和女学院、英和生を愛し、励まされる主よ。

あなたは十字架の死の前に「わたしの願いではなく、御心のままに行ってください」と祈られました。神様の心はすべての人が赦され、愛されることです。私たちが学び、知識を与えられるのもあなたを愛し、互いに愛し合うためです。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、安全で健康な学校生活を送り、自ら学び、学び合い成長させて下さい。主イエス・キリストによってお願い致します。アーメン